

平成18年度県税歳入補正予算の概要

下線部分は現計予算額対比

補正予算見積総額 + 100億7千万円 (+ 6.9%)

(当初 1,460億円 補正後 1,560億7千万円)

・対前年度決算比 + 118億7,492万円(+ 8.2%)

・法人二税、個人県民税を中心に多くの税目で増収となる。

《主な増額補正税目》

法人二税 + 77億5,400万円 (+ 13.3%)

(当初 582億9,050万円 補正後 660億4,450万円)

・対前年度決算比 + 100億9,890万円(+18.1%)

法人県民税 + 17億5,850万円 (+ 19.3%)

(当初 90億9,870万円 補正後 108億5,720万円)

・対前年度決算比 + 19億2,177万円(+21.5%)

法人事業税 + 59億9,550万円 (+ 12.2%)

(当初 491億9,180万円 補正後 551億8,730万円)

・対前年度決算比 + 81億7,713万円(+17.4%)

(要因)平成18年度の法人二税は、分割基準の見直しにより金融業で大幅な減収となったものの、全体的に企業収益は引き続き改善したこと、また一部大手法人の個別要因として繰越欠損金や特別損失の解消により税収が大幅に伸びたことから結果として当初見込みを大幅に上回った。

個人県民税 + 20億8,410万円 (+ 8.3%)

(当初 251億9,480万円 補正後 272億7,890万円)

・対前年度決算比 + 31億9,437万円(+13.3%)

(要因)景気回復に伴う雇用情勢の改善や老年者非課税措置の廃止、株式等の譲渡所得の増加などにより納税義務者数が大幅に増加したことや配当割・株式等譲渡所得割が企業業績の回復や株式売買の活性化等に伴って当初見込みを上回った。

地方消費税 + 4億6,460万円 (+ 4.0%)

(当初 116億4,760万円 補正後 121億1,220万円)

・対前年度決算比 + 3億4,574万円(+ 2.9%)

(要因)県内消費の回復により払込額が当初見込みを上回った。

不動産取得税 + 3億5,440万円 (+ 7.7%)

(当初 45億9,610万円 補正後 49億5,050万円)

・対前年度決算比 + 2億1,429万円(+ 4.5%)

(要因)土地取引は減少したものの、景気回復による設備投資の増加などにより非木造家屋(住宅以外)の新築が大幅に増加した。

固定資産税 + 1億 390万円 (皆増)

(当初 見込まず 補正後 1億 390万円)

・対前年度決算比 + 1億 390万円(皆増)

(要因)竜王町のたばこ税収入(平成16年度)が大幅に増加したため、竜王町の基準財政収入額が膨らみ、県が課する大規模償却資産が発生した。(平成18年度のみ)

県民税利子割 $\frac{+ 7,240 \text{万円} (+ 7.0\%)}$
 (当初 10億3,910万円 補正後 11億1,150万円)
 ・対前年度決算比 3億5,293万円(24.1%)

産業廃棄物税 $\frac{+ 6,550 \text{万円} (+ 145.6\%)}$
 (当初 4,500万円 補正後 1億1,050万円)
 ・対前年度決算比 + 5,469万円(+98.0%)

自動車取得税 $\frac{+ 6,310 \text{万円} (+ 1.2\%)}$
 (当初 50億7,650万円 補正後 51億3,960万円)
 ・対前年度決算比 845万円(0.2%)

個人事業税 $\frac{+ 4,240 \text{万円} (+ 2.8\%)}$
 (当初 15億3,420万円 補正後 15億7,660万円)
 ・対前年度決算比 + 5,228万円(+3.4%)

《主な減額補正税目》

県たばこ税 $\frac{4 \text{億} 5,970 \text{万円} (12.1\%)}$
 (当初 37億8,930万円 補正後 33億2,960万円)
 ・対前年度決算比 3億9,829万円(10.7%)

(要因)平成18年7月以降、栗東市内で売り渡されるたばこの本数が急激に減少しているため、当初見込みを大幅に下回った。

自動車税 $\frac{2 \text{億} 5,310 \text{万円} (1.3\%)}$
 (当初 199億3,700万円 補正後 196億8,390万円)
 ・対前年度決算比 2億7,411万円(1.4%)

(要因)自動車の保有台数の伸びが見込みを若干下回ったことやグリーン税制による軽減額が増加したため、当初見込みを下回った。

軽油引取税 $\frac{1 \text{億} 8,490 \text{万円} (1.4\%)}$
 (当初 133億4,490万円 補正後 131億6,000万円)
 ・対前年度決算比 11億6,365万円(8.1%)

(要因)平成18年度に入って以降、大口販売業者の引取数量が急激に減少したことや滞納繰越分(徴収猶予分)が減少したため、当初見込みを下回った。

ゴルフ場利用税 $\frac{3,670 \text{万円} (2.5\%)}$
 (当初 14億6,740万円 補正後 14億3,070万円)
 ・対前年度決算比 + 961万円(+0.7%)

《その他の歳入》

地方消費税清算金 $\frac{1 \text{億} 3,651 \text{万円} (4.6\%)}$
 (当初 246億1,600万円 補正後 234億7,949万円)
 ・対前年度決算比 + 1億7,042万円(+0.7%)

市町たばこ税県交付金 $\frac{+ 6,532 \text{万円} (+ 2.9\%)}$
 (当初 22億1,900万円 補正後 22億8,432万円)
 ・対前年度決算比 + 12億2,621万円(+115.9%)